

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマイルひろば匠 臥竜店		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 20日 ~ R7年 1月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	R7年 1月 20日 ~ R7年 1月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の得意・不得意に合わせた支援が出来ること。	様々な活動の中から自分で選択して活動できるように活動の内容を検討している。 (運動、おやつ作り、製作、学習、課外活動など)	児童の年齢に差があるため、それぞれの学年にアプローチできる活動を取り入れ、内容を増やしていく。
2	地域資源を活用した支援を行っている。	事業所に近くには臥竜公園や動物園、博物館など地域の施設があるので活用しながら支援を行っている。	イベントや活動を通してより地域の方に周知してもらえるようにしていく。
3	学校や家庭以外の安心できる居場所になっている。	その日の児童の体調や気持ちも汲んで活動を行っている。 休憩、リラックスできるスペース作り。	安心して過ごせるための環境設定。 安心して過ごせるところからの活動への参加。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	どういう事業所なのかどのような支援をしているのか周知されていない。	開所して日が浅いため、発信する情報が少ない。	SNSなど活用し日々の活動や児童の様子を発信していく。 利用児童の会議や活動を通して信頼関係を構築していく。
2	定められたスペースは確保できているが、身体を動かして遊ぶ際狭く感じるときがある。	部屋が分かれているので、サッカーやバドミントンなどで遊ぶ時に狭く感じる。	体を動かして遊ぶ時には体育館を利用したり、近くの公園等に出かけ、思い切り動き、気持ちも発散できるようにしている。
3	保護者会がないので保護者同士の関わりがあまりない。	まだ開所して日が浅いということ、保護者会を負担と感じる保護者もいたため、行っていない。	保護者も一緒に参加できるイベントを計画し、負担の少ない形で交流ができるように検討している。 (バーベキュー大会、スポーツ大会など)